

あなたの「？」におこたえします

「日本共産党綱領の話」より

平和なアジア

すでにある「平和の枠組み」を強める

米中の覇権争いが強まるも、いま必要なのは、米中をふくめた「平和の枠組み」をつくることです。軍事対決のエスカレートではありません。

あらゆる紛争を話し合いで解決

お手本がASEAN（東南アジア諸国連合）に。「紛争の平和的な解決」を義務づけた友好協力条約をむすび、東南アジアを「分断と敵対」から「平和と協力」の地域に変えてきました。

軍事対軍事の悪循環でなく
9条を生かした外交努力こそ



共産党作成の「あなたの『？』におこたえします 日本共産党綱領の話」が「わかりやすい」と好評です。安保条約、自衛隊、天皇、共産主義など10のテーマで共産党への疑問にズバリ答えています。今回は「平和なアジア」を紹介します。



米中日をくわえた「東アジアサミット」で

この「平和の枠組み」を東アジア全域に広げる——いまASEANは、米国、中国、日本などをふくむ「東アジアサミット」を毎年ひらき、東アジア規模での友好協力条約をめざして努力しています。

ロシアのウクライナ侵略にかかわり、侵略者に対して日本も自衛力強化が必要ではないかという議論があります。しかし軍事と軍事の悪循環のエスカレートに陥ってしまうことがいま一番危険です。憲法9条を生かした外交努力によって平和な東アジアを築いていくことに力をそそぐべきです。

旧ソ連時代から 覇権主義許さず



ソ連共産党の解体時に
発表した党常任幹部会
声明 (1991年9月
2日付「赤旗」)

「ロシアは共産圏?」「日本共産党も仲間?」——とんでもない誤解です。旧ソ連時代から、ロシアの覇権主義を世界で最も厳しく批判してきたのが日本共産党です。

チェコスロバキア侵略 (1968年) やアフガニスタン侵略 (79～89年) など旧ソ連による覇権主義に対し、正面からたたかってきました。旧ソ連は、日本共産党にも干渉攻撃を繰り返しましたが、そのすべてと正面からたたかい、91年にソ連は崩壊し、歴史的な決着がつかしました。ソ連共産党が崩壊した時、「歴史的巨悪の党の終焉 (しゅうえん) を歓迎する」との声明を発表しました。(上の写真)

日本共産党